



国内外の発電所の配管保守・設計を手掛ける。電力の安定供給に欠かせない、地震による配管の揺れなどを最小限に抑える「支持装置」の設計で高い技術力を持つ。プラント内のさまざまな支持装置を設計できる国内でも数少ない企業だ。

共和設計（宇都宮）

宇都宮市江曾島町の本社で作った計画図を、コンピューター利用設計システム（CAD）で仕上げるのがセブ支店。「特殊な技能が必要な仕事を本社でやってセブへ送る」。現地も一定の技能が求められるため、会長自ら現地へ赴き、人材育成に力を注ぐ。

人手不足が進む国内と違い、現地は「採用枠の5倍以上の応募があり、人件費も抑えられる」。今は本社の24人と現地の14人が連携して仕事を完遂させる。



フィリピンのセブ支店で仕事をする現地従業員（共和設計提供）

当面の目標は「セブの精度を上げ全体の効率を上げる」と君島和明社長（31）は話している。そのために設計補助システムの導入などを検討中で「社員と一緒に成長できる会社になる」と力を込める。（岡田優子）

発電所装置設計比に拠点

1996年、フィリピン・セブ島のセブ市中心部に支店を設けた。バブル期、人材確保に苦労した創業者の君島明会長（67）は「人材を求め英語圏で人口の多い所に進出した。立ち上げは大変だった」と振り返る。